

『順番』 作：ポチ子

『順番』 作：ポチ子

誰かの一番になりたいと思うのは、

自分の中で順番がある証拠。

あの子は1番で、

あの子は2番、

あいつはどーでもいいし、

あいつは死んでもいい。

自分の中で大切な順番が決まっています、

だから、

誰かの一番になりたいと思う。

同じ気持ちで、

同じような態度で、

自分が人を愛することが出来ないから。

周りもそうだと思う。

私の中で一番のあの子が羨ましい。

誰かの一番になれるなんて、

必要とされるなんて羨ましい。

あなたが誰にも愛されなくなればいいのに。

そう思うけど、

その子を2番になんて出来なくて。